

## あいち健康の森連絡会議の開催状況等について

### ○あいち健康の森連絡会議の開催状況

- |   |                               |
|---|-------------------------------|
| 1 | 日時：平成23年7月13日（水）午後3時から午後4時40分 |
| 2 | 場所：あいち健康プラザ プラザホール            |
| 3 | 出席状況：8名出席、2名代理出席、1名欠席         |

### ○あいち健康の森連絡会議における委員の主な発言内容

#### <あいち健康の森に対する意見>

- ・あいち健康の森は、発足から20数年が経過し、様々な施設がこの地域に集約され、保健・医療・福祉の総合的な巨大複合施設となっている。高齢化社会に対して、このような施設がどのように社会福祉に貢献したらいいのかが大きなポイントになる。
- ・発足以来、連携について言われているが、全貌が把握されていないし、PRも足りない。アウトラインをはっきりさせ、各施設の特徴やスタイル、事業などを一度総合的にまとめ直し、長寿社会に対して、どういう役割が担えるのか、総合的にデザイン化しないといけない。
- ・大府市と東浦町のウェルネスバレー構想も、非常に大きな構想である。あいち健康の森を基盤にして、さらにこれを発展させていくということが非常に大事である。
- ・駐車場の充実、建物や公園の導線などあいち健康の森を1つの視点として進めてほしい。

#### <各施設間の連携に関する意見>

- ・愛知の力、大府、東浦の地域から、最も新しく、象徴的な問題である認知症などこれからの高齢社会の答えを出して、日本モデルとして、世界に届ける必要がある。
- ・長寿センターや小児センター、介護施設があるので、そういった方々に農を体験していただく機会を設け、それを通じて心の豊かさを求めていくことを考えている。
- ・個別の団体として収益を上げたい。例えば、外との連携、旅行エージェントと組んで健康づくりプラスげんきの郷、そういった商品を作っていただいて、それを売り出すことによって、元気な方々が1泊や日帰りで来ていただくなどの展開を考えている。
- ・ウェルネスバレーを推進するため、恒常的な組織を立ち上げ、常時、連携、交流しながら、情報発信する、PRするということを考えている。